

≪活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり≫

1学期に栽培し育てた枝豆の苗を2本残しておき、子どもたちとその後の変化を観察しながら12月を迎えた。野菜が生長し実るわけではないので、1学期ほど毎日のように枝豆の変化を意識する子は少なかった。しかし、緑色をしていた枝豆が次第に茶色になり、葉っぱも枯れ始めると興味というよりも心配になる子が出てきた。そんな子どもたちに「さぁ、枝豆はどうなったのかな??」と問い掛けた。



まずは莢が乾燥し、その後徐々に枝も枯れ始めていき、その変化を見ていた子どもたちは…

「先生、大変！！枝豆が茶色になってる。大丈夫かな？腐ってるの？もう食べれない？」

「ママが言ってたよ！腐ったら臭くなるって！」（よくお母さんの話を聞いていますね）

「これ臭くないよね。」 「どうしたんだろう??」

「なんか枝豆がおじいちゃんになったみたい。面白いね♪」

「枝豆(莢)の中はどうなってるのかな??茶色の豆?それとも黄緑色?中見たーい!!!」

といった色々なつぶやきを聞くことができた。子どもたちにとって枝豆の莢の中は、未知の世界のようである。早く中身を見てみたい子どもたち！！みんなでカラカラに乾いた莢から枝豆を取り出すことにした。そこでもワクワクが止まらない子どもたちから歓声の混じった色々なつぶやきが聞かれた。

何これ？チクチクする！！



そっと、そっと！！
やさしくしないとね！



まだあった！みつけた！



そしてついに…収穫完了！



指先を上手に使いながら莢から豆を取り出す子もいたり、豆が手元から逃げ落としてしまう子もいたり、必死に格闘する子どもたちの顔は真剣そのものだった。子どもたちの集中力にも驚かされた活動となった。

そして、枝豆の莢から出てきたのは…小さくて丸い肌色のかわいいお豆！！それを見た子どもたちは…



「枝豆じゃなかった！！」「腐ってなくて良かった。」

「この豆見たことあるよ…えっと～大豆だ！！」

「先生あってる？」「そう大正解！」



しかし、子どもたちの中には不思議がる子もいた。「あれ？？ 枝豆って大豆の赤ちゃん？おじいちゃん？」
「枝豆が変身すると大豆になるんだね。食べてみたいなあ～。枝豆の味するのかな？」と、いろいろな声が聞かれた。子どもたちの思いも大切にしたいと、みんなで大豆を食べてみることにした。しかし、大豆をそのまま(生のままで)食べることはできないため、今回は食品衛生上、子どもたちが育てた大豆ではなく市販の煎り大豆を食べることにした。(下記参照)



おいし～い！！
何個も食べれる
ね😊



これ、食べたこと
ある。
鬼が来ないように
投げる豆？？



その他にも、「枝豆と味が違う。」「喉乾いちゃうね。お茶飲もう。」「ピーナッツみたいなの？匂いがするね。」「噛むといい音がする。ねえ、聞いててね(ポリポリ)」「そうそう、長い海苔巻き(恵方巻)を食べた時に、この豆投げたり、食べたりしたよ。」など多くの声が聞かれた。実際に触れたり、食べたりすることで、五感を使いそこから過去の記憶をさかのぼり「節分」の話まで出てきた。大豆の話で盛り上がった子どもたち。しかし、中にはやはり馴染みのない大豆とにらめっこをしている子もいた。なので無理はせずに…。

そしてこの日は、これだけではなく・・・子どもたちと料理？実験？遊び？が始まるのでした😊

またまた食品衛生上、市販の煎り大豆をジップロックに50粒くらい入れて、料理用のめん棒でお餅つきのように大豆を叩き、粉々にしてみた。何ができるのかな？みんな楽しみながら、いつの間にか職人さんのような手つきになっていた。また、友達と協力する姿も見られ、順番も自分たちで決めて取り組む子どもたちでした。

初めの状態



まずは1人で！



友達と協力して



作戦会議をして・・・



なかなか細かくならず



資料を見ながら・・・



新技が出てきました！



これはなかなかいい！



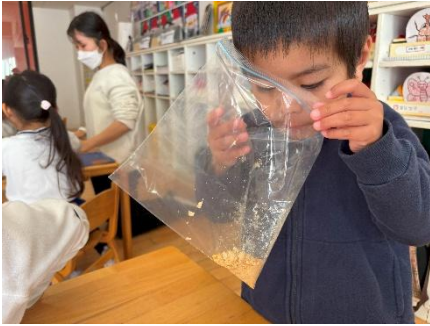
みんなで力を合わせたことで
やっと出来上がり！！



さあ、いったい何ができただけしょうか？？？？

袋の中をちょっと失礼！すごくいい匂いがするね😊

う～ん、いい匂い！
お腹すいちゃった。



この匂いはもしかすると・・・きな粉かな？ 正解！！
今度は 大豆 が きな粉 に変身したのです。

ということで、今度は市販のきな粉に砂糖と塩を混ぜてきな粉の試食会へと突入！！

(念のため先ほど粉々にしたきな粉は使わずに、市販のきな粉をいただきました。)



初めのころは、カップに入ったきな粉をスプーンで食べていた子どもたち！

しかし、味が気に入ったのか次第に・・・

ちょっと失礼！！と大きな口を開けて食べ始める子もいれば、

カップの底に残っているきな粉を指で上手に、「あ～ん！」と。

今回は、お餅など主食になるものはありませんでしたが、

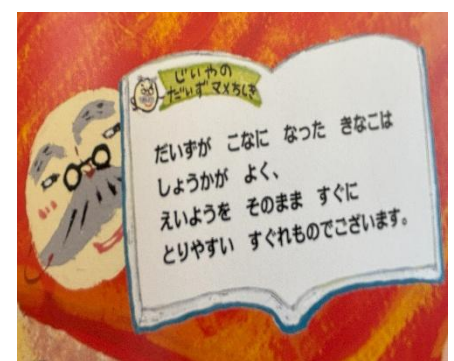
「きな粉もっと欲しい！」「おかわりある？」「今度お餅で食べた～い！！」

「パフパフするけど、お茶があるから平気！」「もっともっと！」の大合唱だった。

「きな粉にどれくらい塩と砂糖入れるの？お家でも作ってみる。」

「きな粉は体に良いんだよ。」と絵本からの内容を伝えるとさらにペロリ！！

あっという間にきな粉を完食！！ みんなで「ご馳走様でした。」



きな粉を食べたことで、子どもたちは今まで以上に大豆やきな粉に更に興味や関心を示すようになり・・・



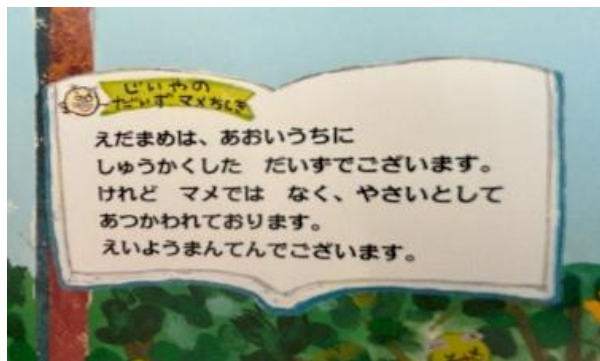
大豆を食べた日の昼食時

お弁当の中に

枝豆入ってたー！

自然と枝豆・大豆・きな粉を関連づけるようになっていた。

そして、絵本や図鑑から抜粋した資料を楽しそうに手に取り、友達と見たり読んだりする姿が多くみられるようになってきた。



また絵本を見ているうちに、大豆に愛着がわき

「だいずちゃん」描いたよ！と見せてくれる子も出てきた。



1番人気の資料



「大豆からきな粉みたいに色々なものができるんだね？」

という保育者の問いに対して、前から知っていた子は自慢気に「納豆」「醤油」「みそ」などと答える子も思いの外多くびっくりした。しかし、「他にはもっとないかな～」と絵本や資料をじっくり見て「あっ、お豆腐も！」「豆乳もだね。飲んだことあるよ。」と調べる楽しさもこの活動で感じ始めたようである。また、図鑑を広げて「先生！大豆でもやし、できるの？」と新たな問い掛けをしてくる子も出てきた。子どもたちの探究心がどんどん強くなり、主体性が出てきた。

《振り返り》

今回の活動では、「おいしいな だいずいちぞく」「まほうのおまめ」「しょうたとなつとう」といった絵本を読んだり、「大豆のへんしん図鑑」をはじめ色々な図鑑を子どもたちの手の届きやすいところに置いたりした。そうすることでいつでも自分の好きな時に、読み進めることができより枝豆や大豆に興味を示し、探究心へとつながった。そして、いつの間にか次に何をしたいのかを自分たちで考え、声に出していた。3学期は、野菜を新たに育てるだけではなく、大豆からできている豆腐や味噌、もやしなども使い、みんなでお味噌汁をいただくことができれば、食育にもつながりこの1年で経験したことが生かされるように思われる。子どもたちもお味噌汁にすることを楽しみにしている。今後更に子どもたちとたくさん話し合っ決めていきたいと思う。